



図書館からのお知らせ

夏休み期間は毎日開館しています。

春日井市図書館は夏休みの7月18日(土)～8月31日(月)までの間、月曜日も開館しています。ぜひご利用ください。

※グループふじとう図書館、各公民館・ふれあいセンター・グリーンパレス春日井図書室は通常どりの開館です。各館・各室の開館状況は開館カレンダー等をご覧ください。



読書席・学習席の抽選について

読書席・学習室は、混雑が予想される、土曜日・日曜日と祝日、お盆休み（8月12日～14日）の午前9時からご利用の方に限り、一部の読書席及び学習室を対象に抽選を行います。

※スマホ・PCで抽選予約をお願いします。詳細は春日井市図書館 HP をご覧ください。
<https://www.kasugai-lib.jp> 図書館案内＞利用案内＞読書席・学習室の抽選について

午前9時10分以降に来館される方は、抽選ではなく先着順（席が空き次第の利用）となります。



令和8年10月13日（火）～10月21日（水）まで
蔵書点検のため全館・全室で休館します。

また、9月23日(水)～10月21日(水)は閉架書庫の閲覧・貸出を停止します。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



春日井市図書館 電話：(0568)85-6800

〒486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5丁目44番地 文化フォーラム春日井 3・4階

開館時間：午前9時～午後8時 休館日：月曜日（休日の場合はその直後の休日でない日）

おすすめ本紹介

記憶

私たちの脳に刻まれた「記憶」。それは自分で思っているよりも完璧で正確な記録ではなく、時にあやふやで、時に切なく、時に愛おしいものです。さまざまな表情に出会える 3 冊を紹介します。



『100 万回死んだねこ 覚え違いタイトル集』

福井県立図書館/編著 講談社 015.2/ヒ/21

図書館の窓口で実際にあった「うろ覚えのタイトル」などを集めた本です。クスッと笑えたり、わかるわかる！と共感したり。あなたの記憶も、実はこんな風書き換わっているかも！？

おまけ：175 ページに図書館の本の検索のコツが載っています。ぜひ参考にしてください！

『空、はてしない青』上・下

メリッサ・ダ・コスタ/著 山本 知子/訳 講談社 953.7/ソ/25-1,2

若年性アルツハイマーと診断された青年エミルと同行者ジョアンヌの旅の話。記憶を失くして死んでしまう恐怖、残した家族への後悔。さまざまな思いを抱えながら、二人は心を通わせていきます。フランスの大自然の美しさと「今、この瞬間」を生きる二人の姿はまるでロードムービーを観ているよう。切なく心揺さぶられる物語です。



『うろおぼえ一家のきゅうじつ』

出口 かずみ/作 理論社 E/リロ/23-23

くらしよいまちに住む、あひるの一家はいつもうろ覚えです。きょうはみんなでおでかけ！おとうさんの提案で行き先をメモすることにしましたが、その先々でいろいろなことが起こります。首をかしげて考えている仕草も可愛く、そのどこか抜けている家族のやり取りに笑ってしまいます。忘れたっていいじゃない！と肩の力が抜けて笑顔になれる絵本です。



おすすめ本紹介

緑



私たちが暮らす地球には、さまざまな色が存在します。その中でも緑は、心身を穏やかにリラックスさせてくれる癒しの色です。グリーンのカラーが美しい本を紹介します。



『コケの国のふしぎ図鑑』

左木山 祝一/著 エクスナレッジ 475/コ/19

ミクロの写真で楽しむコケの図鑑。コケのふしぎな美しさと、種類の多さに驚きます。現在では世界に約2万種、日本には約1800種存在するとされています。

ページをめくっていくと、楽しいコケテラリウムの世界も…。

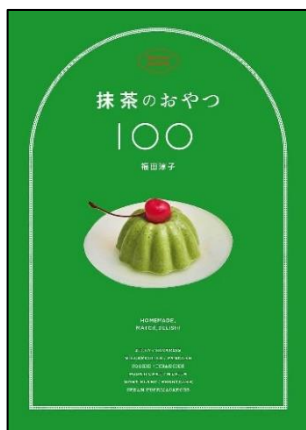
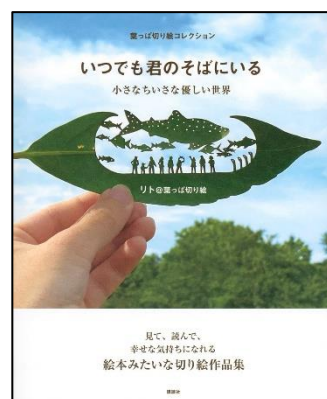
まちのコケを見つけに出かけてみるのも良いかもしれません。小さなコケの観察は、日常を忘れて心に安らぎをもたらしてくれるでしょう。

『いつでも君のそばにいる』

リト@葉っぱ切り絵/著 講談社 726.9/イ/21

小さな葉っぱ一枚に、繊細な切り絵で物語が表現されています。この本で紹介されている作品は、とても魅力的で、葉っぱに表現された動物たちがとても可愛く、心をあたたくしてくれます。背景に写っている景色からも時間の流れや季節を感じられます。

葉っぱ切り絵アーティストの著者は、今も日々SNSに作品を投稿されています。



『抹茶のおやつ100』

福田 淳子/著 光文社 596.6/マ/22

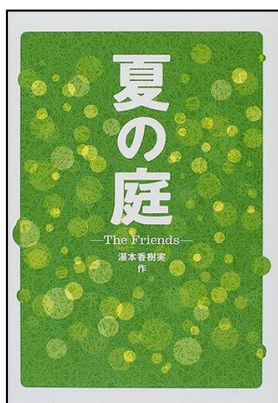
抹茶のおやつは好きですか？この本は、100種類以上の抹茶のおやつが紹介されていて、見るだけでもとても幸せな気持ちになります。簡単＆手軽で特別な道具はほとんど必要ないレシピもあります。今の季節にぴったりの「もちもち豆腐抹茶白玉」や「抹茶のライムミントソーダ」などぜひ作ってみてはいかがでしょうか。



おすすめ本紹介 酷暑日



気象庁は今年 4 月、最高気温 40℃以上の日を「酷暑日」と呼ぶと発表。春日井市に気象庁の観測地点はありませんが、観測地点のある近隣の名古屋や多治見では、今年は何日「酷暑日」が記録されるのでしょうか。酷暑と向き合う本を集めました。



『夏の庭 -The Friends-』

湯本 香樹実/作 徳間書店 913/トク/21

小6少年3人組が夏休みに身近な人の死と向き合い、成長していく物語。死に興味を持ち、酷暑の中、身寄りのないおじいさんの観察をはじめた3人。でも探偵ゴッコはすぐにバレ、おじいさんと親しくなって死に直面した戦争体験を語られます。

そして夏の終わりには思いがけない出来事が…。少年の純粋さに心癒され、大人も楽しめる児童文学の傑作です。

『悪い夏』

染井 為人/著 KADOKAWA F/ソメ/23

市役所で生活保護を担当する真面目な青年が、受給者の不正に巻き込まれ、ひたすら堕ちていく物語。周囲はワルと愚図ばかり。酷暑の中、がんじがらめの負のスパイラルがテンポ良く導く破滅の終焉は、むしろ心地良い。これぞ"ノワールサスペンス"ともいえる暑い夏にこそ読みたい一冊です。



『データで見る名古屋の気象』

新谷 光三/著 日本気象協会東海本部 A451/テ/00

名古屋の暑さを分析した本です。1996 年発行なのに「酷暑日」が載っています。理由は用語解説のページで。

30 年前の発行当時、名古屋では 40.0℃超えは未知の世界でした。都市化や地形等で国内気候を比較するローカルな手法は、地球温暖化という言葉に慣れた現代人には新鮮かも。

